



今日のトピック FRBはFOMCでテーパリングの議論を開始
金融緩和縮小は慎重に行われ株価は堅調推移へ

ポイント1 FRBは金融政策を据え置き

- 米連邦準備制度理事会（FRB）は7月27日、28日に米連邦公開市場委員会（FOMC）を開催し、政策金利であるフェデラルファンド（FF）レートの誘導目標レンジを0.00～0.25%に据え置きました。
- 声明文では、債券購入プログラムについて「雇用の最大化と物価安定に向けて一段と顕著な進展があるまで」現行ペースを維持すると改めて表明しました。
- また、「経済は最大雇用と物価安定の目標に向けて進展を遂げた」との文言が新たに追加されました。

ポイント2 テーパリングの議論を開始

- パウエル議長は記者会見で、資産購入減額（テーパリング）について議論したことを表明しました。
- ただし、債券購入を減額する時期はデータ次第としており、実際のテーパリング実施時期は未定となっています。また、「今後の複数の会合」で議論を行うとしていることから、テーパリングの時期は近づいてはいるものの、すぐに実施されるわけではありません。

今後の展開 金融緩和縮小は慎重に実施

- 28日の米国市場では、株式市場、債券市場ともに小動きでした。テーパリングの議論開始はおおむね市場の想定通りでした。
- なお、FRBは「経済の先行きは引き続き新型コロナウイルスによって左右される」と感染再拡大への警戒感を解いておらず、パウエル議長はインフレについても「供給制約で一時的に上昇した価格はいずれ落ち着く」と述べています。こうしたことから、金融緩和の縮小はきわめて慎重に行われると見られます。
- 今後の市場については、金融緩和縮小が意識されつつも、企業業績拡大によって株価は上昇を続けると予想します。

【政策金利、長期金利と物価上昇率】



▲ 2
(注1) FFレート、10年国債利回りは2007年1月～2021年7月。2008年12月以降のFFレートは誘導レンジの上限を表示。
(注2) 物価上昇率は個人消費支出（PCE）コア物価指数の前年同月比で、2007年1月～2021年5月。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【NYダウと米長期金利】



(注) データは2019年1月1日～2021年7月28日。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここもチェック! 2021年7月21日 米金融政策と業種別株価の動きを検証
2021年6月29日 テーパリングと株価の動きを検証

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。